薪割り機
取扱説明書
GWG50

当社の薪割り機をご購入頂き誠に有難うございます。当商品は厳密な品質管理のもとで製造され、すぐれた操縦利便性と簡単メンテナンス性を兼ね持ちます。
ご使用になる前に必ずこの取扱書をよくお読みください。取扱書には、薪割り機の安全かつ簡単なセットアップ方法、操縦&メンテ方法などが詳しく説明しているため、ご自身または薪割り機を操縦する方が、必ず安全警告内容に従ってご使用をお願いします。安全警告を無視して無理の操縦、または取扱いを間違えると事故につながりますので、当商品の使用に際しては、必ず取扱説明書をよく読み、機械につけてあるラベルについて理解してください。

目　　録

安全操縦注意事項……. ……. ……..1-4
組立て＆取付……5-10
使用前の準備…… 11-12
操作のしかた……..13-15
長期間使用しない時の保管……..16
故障及び解決……17-19
パーツ一覧図…… …..20

警告（WARNING）： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容です。状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。必ず守って下さい。

危険（DANGER）： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ず守って下さい。

安全操縦注意事項

1. 取扱書及び薪割り機機体の貼られたラベルによくお読み理解し、それに従って操縦してください。取扱書を大切に保管し、不明なところがある場合、またはパーツ交換必要時はもう一度取扱書をお読みください。

2. 機械の正確な操縦やりかた、コントロールやりかたをよく覚えて下さい。特に機械の緊急停止やりかた、及び機械から離れるやりかたを使用する前に把握して下さい。

3. 未成年者に機械の操縦を任せるのは絶対におやめて下さい。操縦者は成年者のみに限ります。しかも操縦のやりかたをよく覚えてからご使用下さい。初回使用するときは、経験者がそばに指導しながら操縦するのがお勧めです。

4. 正確な取扱い手順をよく分からない人は機械の操縦は厳禁です。

5. 一人より多数操縦者が同時機械を操縦する場合は、意外事故が発生しやすいため、操縦者は必ず薪を運ぶ人の安全を十分に注意し、必ず運ぶ人が機械から３メートル以上離れた後、薪割りを行って下さい。

6. 機械を操縦するときは、傍観者、ペット、子どもなどは必ず７メートル以上離れて下さい。

7. 薪割り機の上にまたがって座るのは絶対おやめ下さい。

8. 薪割り機を輸送道具としてのご使用はおやめ下さい。

9. 油圧ポンプには非常に高い圧力を持っているため、衝撃などの原因によりヒビ、小穴などを起こした場合は、高圧力のオイルが噴出し、使用者が死亡または重傷を負う可能性がありますので、以下の操縦注意事項を常にご注意ください。

a. 裸手で直接機械パイプなどの検査をおやめ下さい。
b. ホース、チューブ、接続具に摩耗、曲れ、ヒビ、ダメージなどがあった場合は、必ず使用を停止して下さい。
c. ホース、チューブ、接続具など機械各部のパーツを交換調整するときは、必ず先にエンジンをストップし、油圧システムの圧力を放してから行って下さい。
d. ポンプ、またはバルブを調整し、薪割り機の圧力を調整するのは絶対におやめください。

10. 漏れ検査するときは、保護手袋、保護メガネをかけて、カートンボックスなどを使って、漏れと疑われるところに置いて、変色、汚れがあるかを検査して下さい。

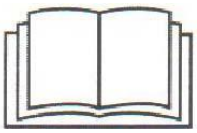
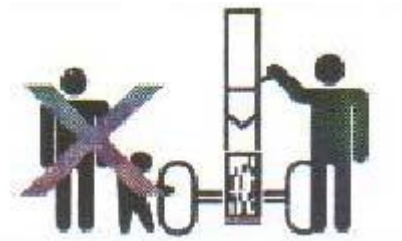
11. 万が一、漏れ油圧で当られた場合は、緊急にお医者さんに診てもらう必要があります。感染または炎症には敗血病を引き起こす恐れがあります。

12. 作業場の清潔、安全を常に確保して下さい。足を引っかかる一切の障害物を撤去して下さい。

13. 薪割り機の作業場には必ず清潔、安全を守って下さい。木材、ガラス、燃料など燃えやすい物を必ず離れて保管して下さい。万が一の時を備え、火災保険の加入をお勧めです。

14. 薪割り機のご使用は、薪割りだけにご利用下さい。それ以外の用途にはご使用できません。

15. 常に安全注意事項を心掛けて、操縦を行って下さい。

取扱書を良くお読みください。 	取扱書及び薪割り機機体の貼られたラベルによくお読み理解し、それに従って操縦してください。
警告：事故危険 	手を必ず薪などを離れて下さい。
傍観者 	手伝い人、傍観者、子ども、ペットなどを必ず3メートル以上に離れて下さい。
1人操縦 	薪割り機の操縦はできるだけ１人で行って下さい。多数操縦者がいる場合は、必ず薪を置く人により薪割りのハンドル操縦を行って下さい。
警告：高圧油圧漏れ 	裸手でホースなどの漏れ検査を行うのは絶対におやめ下さい。高圧油圧漏れには人身事故を起こし、敗血病などを引起こす恐れがあります。
保護メガネ 	薪割り機を操縦時は常に保護メガネと保護手袋を装着してください。
警告：移動パーツと刃 	薪割り刃と移動するパーツから離れて操縦して下さい。

警告!： 商品荷降し及び開梱の際は十分に気を付け下さい。商品本体及び各部パーツは非常に重いため、フォックリフトなどの運搬道具を使って行って下さい。

備考: この取扱書に述べる薪割り機の「左側」、「右側」は操縦者の立場からお考えて下さい。

操縦前の準備：

1. 安全靴を履いて下さい。

2. 保護メガネも忘れずにかけて下さい。

3. できるだけ作業服をはいてください。ネックレス、不適切な服装などは薪割り機の回転パーツの中に挟まれやすいため、危険です。

4. 平坦な地面に薪割り機を設置してください。

5. 万が一薪割り機が動き出すのを防ぐため、タイヤを常にくさびなどで止めて下さい。またはカッター部分も固定してください。

6. 作業注意事項を常に注意しながら薪割り機を操縦してください。

7. 長い薪を割る前に、適切な長さに切って下さい。

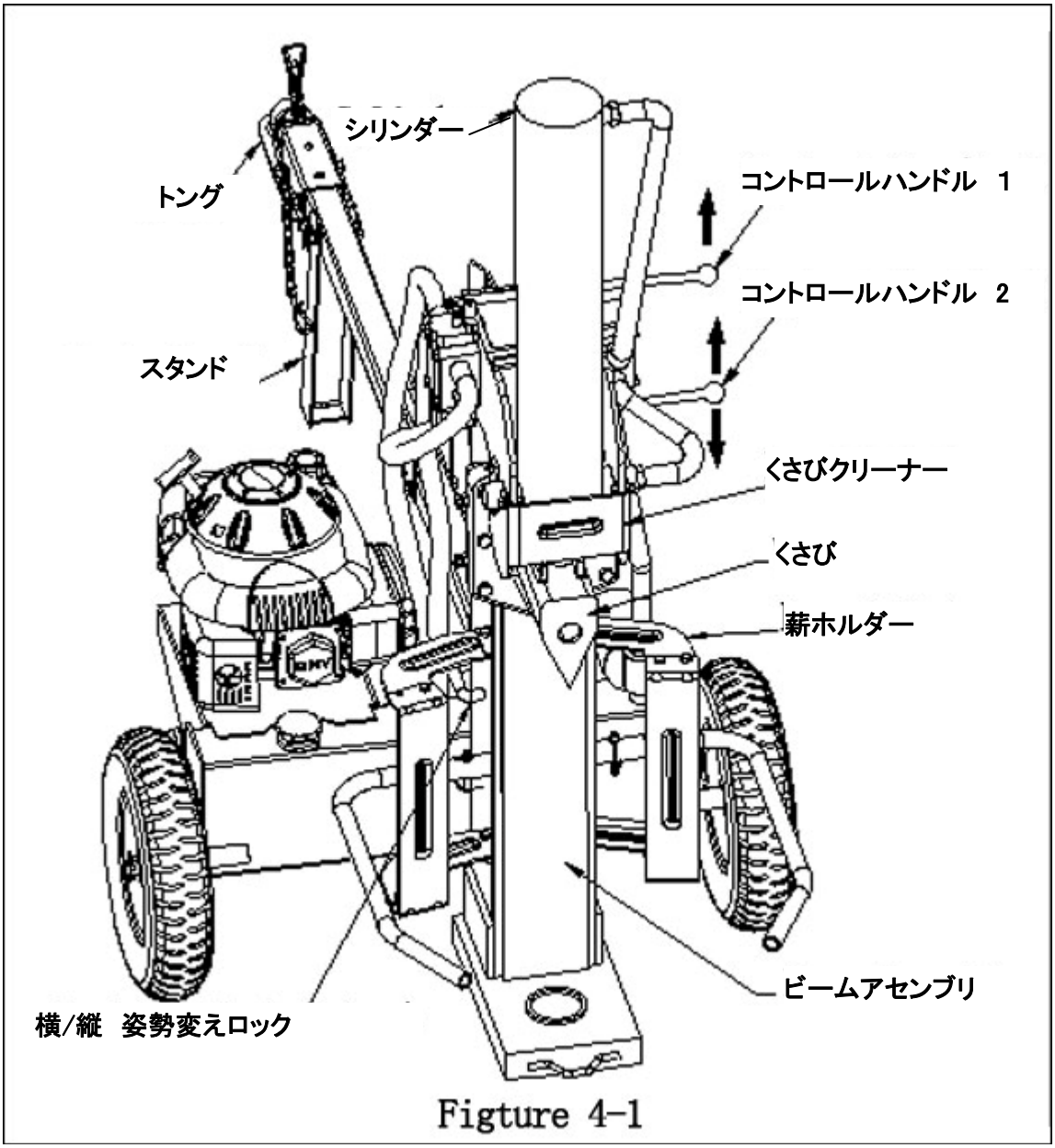
8. 昼間または視界が良い光の下で作業して下さい。

ガソリン燃料保管注意：

薪割り機のエンジン説明書は同梱されています。よくお読みください。
ガソリンが蒸発しやすく、非常に燃えやすいため、ガソリンの保管及び使用は十分に気を付けて下さい。ガソリン補給時に手及び作業服に付いた場合は、すぐ水で洗って下さい。

- 引火しやすいタバコ、エレキ製品は近くに置かないでください。
- 密閉した部屋でガソリン補給はおやめ下さい。
- エンジン運転中、またはストップ直後に温度まだ高い場合にガソリン補給はおやめ下さい。
- エンジンストップしてから少なくとも５分間以上を経ってから、ガソリン補給を行います。
- 燃料タンク容量以上にガソリン補給はおやめ下さい。
- 燃料タンクキャップを常にしっかり締めって下さい。
- ガソリンが地面に漏れた場合は、薪割り機表面のガソリンをきれいに拭いて、ほかのところに薪割り機を移動して、５分待ってから作業スタートして下さい。
- ガソリン保管は火気、電気機械、燃えやすい物と離れて保管して下さい。

・ 商品各部の名称



Figture 4-1

・
・ 横/縦姿勢変えロック： 横姿勢と縦姿勢を安全に保つため、二つのロックが設計されています。縦姿勢ロックはタンクブラケットのところにあります。横姿勢ロックはビームサポートブラケットのところにあります。
・ コントロールハンドル１： アップとダウンをコントロールする。
・ コントロールハンドル２： くさびの位置調整ができます。（前進、中立、後退）三つの位置調整ができます。丸太の断面傾斜により、最適の割り位置を調整できます。
・ くさびクリーナー：太い丸太、または新鮮な丸太を割る時は、くさびに丸太がくっ付かないよう設計されています。
・ コントロールハンドル： 薪割りのカットとアップをコントロールする。
・ くさび：斧の先端刃と同じ意味で、丸太を切り裂きます。
・ トング：車で牽引するときに使えます。

各部の組立て

スタンドを取り付ける （図３－１）

1. スプリングクリップ　と　固定ピンをはずして、スタンドを矢印方向に地面に降ろして下さい。

2. スタンドを卸してから、スプリングクリップと固定ピンを元に差し込みスタンドを固定します。

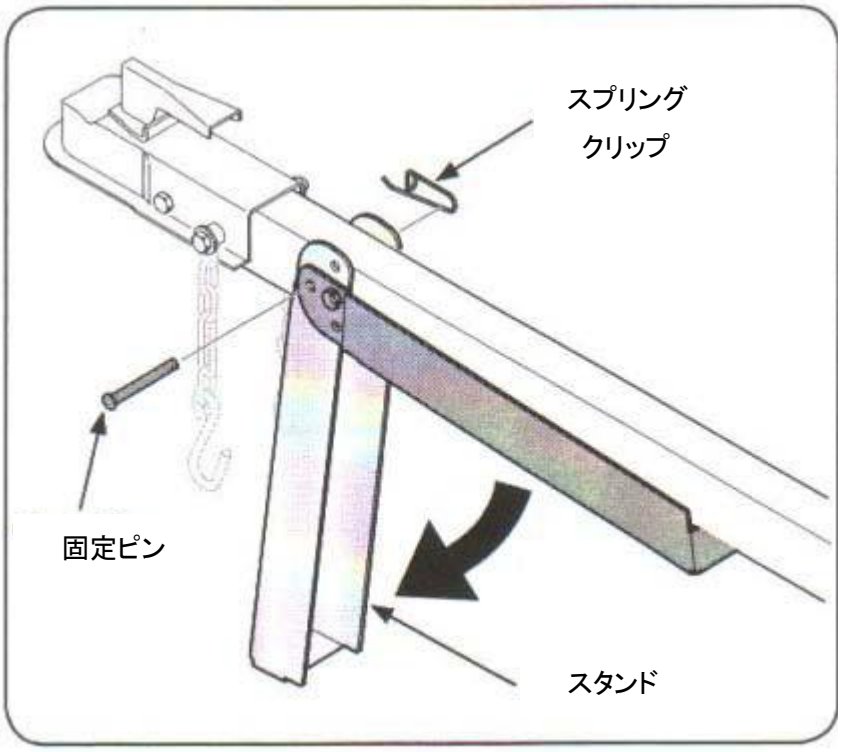


Figure 3-1

トングを取付け （図３－２）

1. タンクブラケットにある2セット六角ボルトをはずして下さい。

2. トングを差し込み、六角ボルトでしっかり止めて下さい。

注意: ギアポンプから出ている高圧ホース は絶対にトングと巻きつかないようご注意ください。

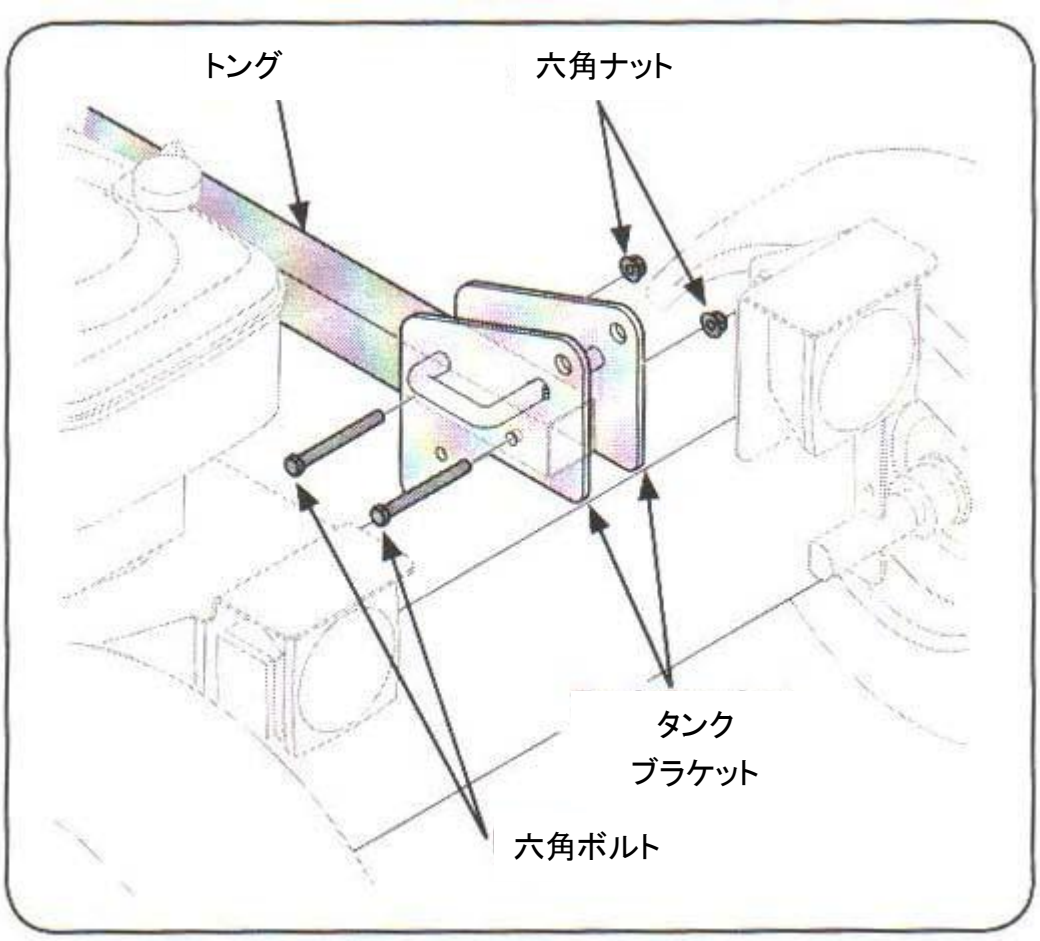


Figure 3-2

シリンダーとビームをつなげる　（図３－３）

1. 縦姿勢ロックを抜き出し、ビームを横姿勢に倒して、ロックします。

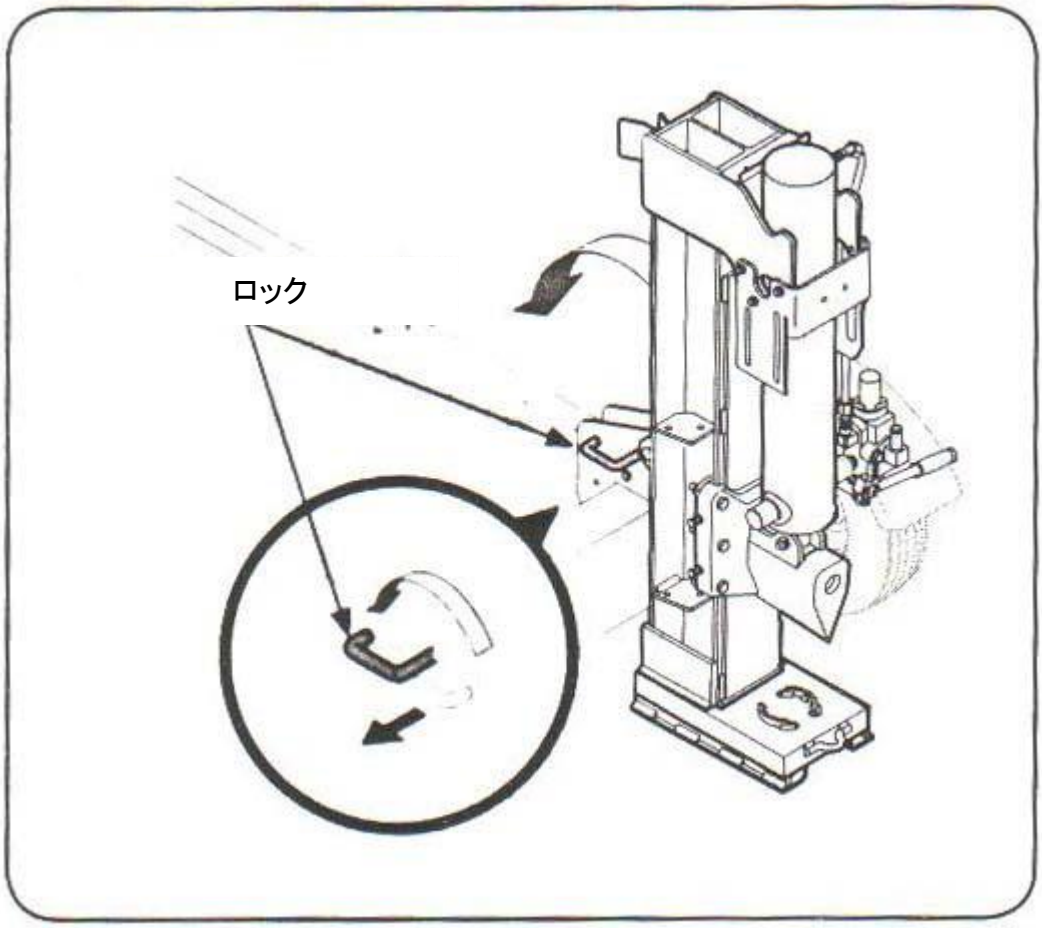


Figure 3-3

2. 図中の六角ボルトをはずし、くさびクリーナーをはずします。

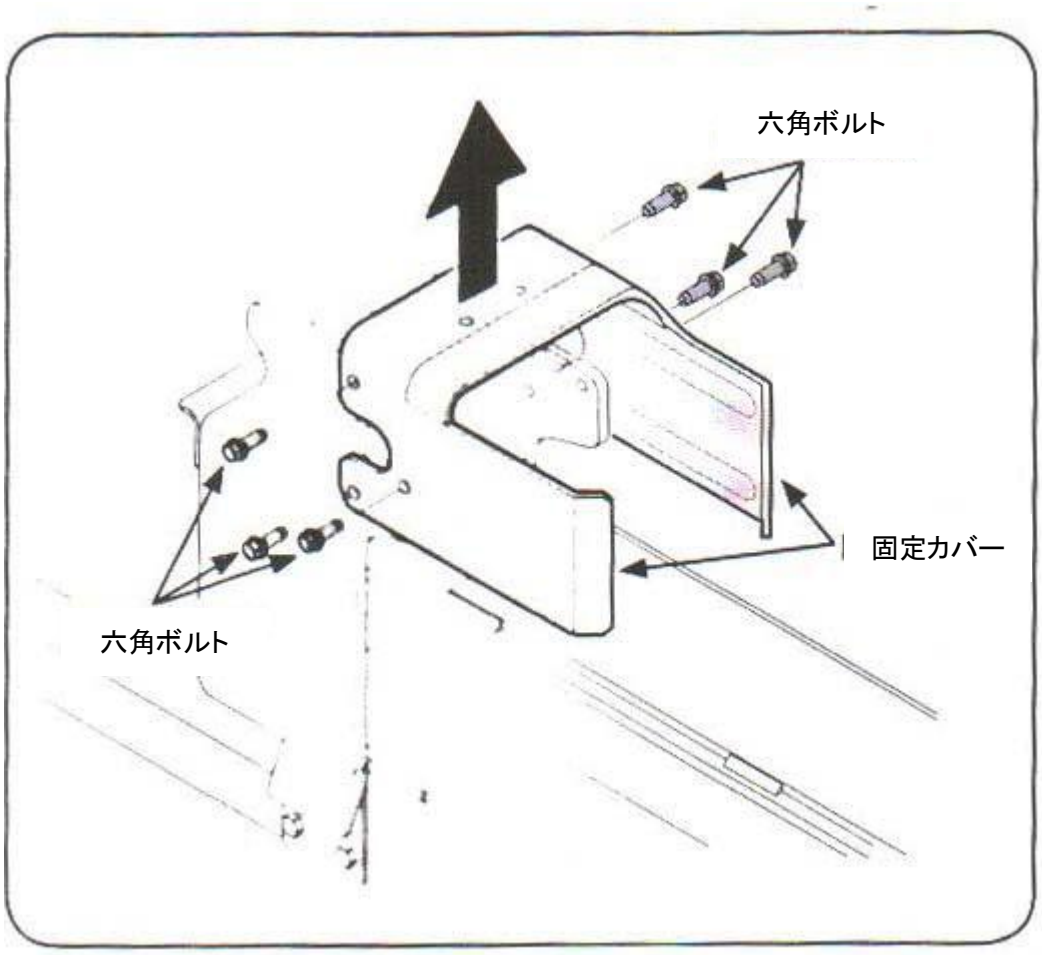


Figure 3-4

3. シリンダーをビームの上部に押し上がり、ブラケットの固定部に固定して下さい。

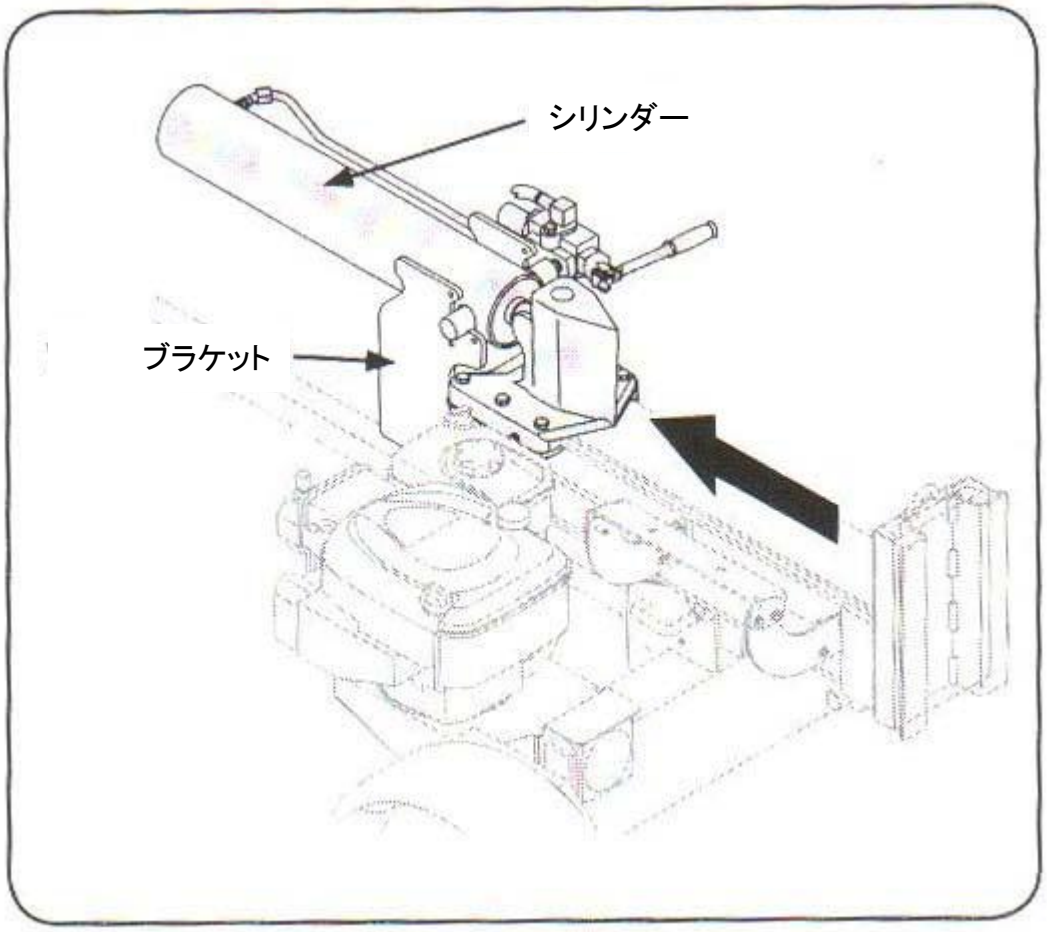


Figure 3-6

4. 図３－４中のくさびクリーナーを元位置に戻し、先ほど外された六角ボルトで締め直します。
注意：しっかり締め直した後、くさびクリーナーとブラケットの間に少々ギャップがあるかもしれない、これは通常範囲以内です。

5. 薪ホルダーを取付けます。

- **使用前の準備**
-
- 1. プレスオイルの補給：下図にあるオイルタンクカバーをはずし、オイルを注入下さい。
  この機種に適正するプレスオイルは以下3種類あります。
  ① Dexron®III/Mercon® automatic transmission fluid
  ② Pro-Mixᵀᴹ AW-32 Hydraulic Oil
  ③ a 10 Weight AW hydraulic oil

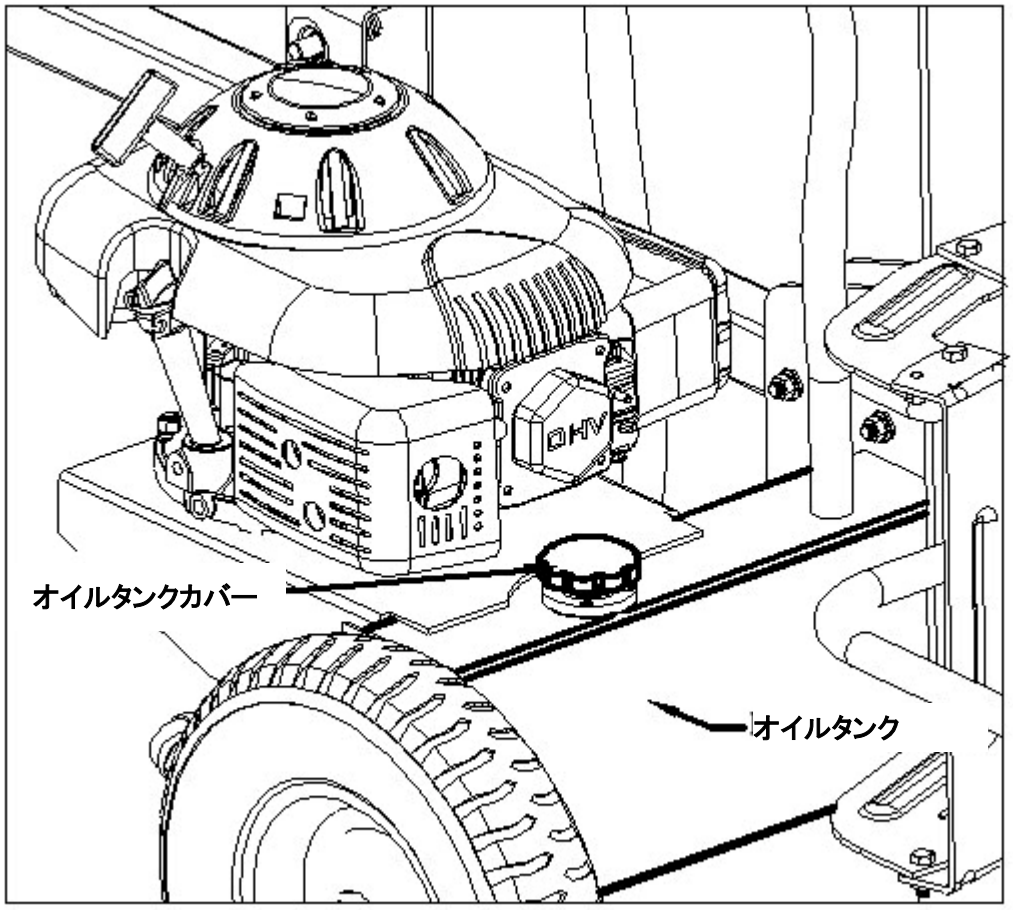


Figure 3-7

-

警告!： 1．オイル補給時には十分ご注意ください。

A. 運転中、またはエンジンまだ熱い時に、ガソリン注入は厳禁です。
B. ガソリン注入時は室外で行って下さい。室内注油は厳禁です。
C. 溢れ出たガソリンもしあれば、きれいに拭き取ってください。

-
- 2. コントロールハンドルでくさびを最上限に引き上げます。
-
- 3. 計量目印に沿って、プレスオイルを再補給します。
  ※注意：プレスオイルの補給量が厳格に計量目印に従って補給して下さい。 入れすぎ、または入れ不足により引き起こした故障は保証範囲内ではありません。

- 4. 液圧システム中の空気をきれいに排出させるため、コントロールハンドルでくさびを最上限から最下限まで移動させ、この動作を12回繰り返して下さい。これによって、液圧オイルが液圧システム全体に均等に行き渡れます。
  ※注意： 液圧システムが熱くなった後、液圧オイルが通風プラグから少し溢れ出る場合があります。
-
- 5. 毎回使用前に液圧オイル計量目印に沿って、オイルを補給ください。

- **タイヤ**
  タイヤの最大耐え圧力は30 psi。 いかなる場合でもこの最大限度を超えてはいけません。
  全てのタイヤに均等的な圧力を与えて下さい。
  警告!： 地面に割れガラスなどがある場合は、万が一タイヤを刺し破れたら、重大な人身事故を引起す恐れがありますので、十分にご注意ください。

- **使用前の準備**
- 1. 薪割り機を風通しの良い乾燥した場所に置き、地面は必ず平坦であることを確認下さい。
- 2. 薪割り機を縦姿勢または横姿勢にし、姿勢変えロックでしっかりロックしてください。
  ※注意： ビームが非常に重いため、姿勢変え時には十分に気を付けて下さい。また薪割り時に十分に安全を気を付けて下さい。
  3. ビームを縦姿勢に変える時は：
  ①. 姿勢変えロックを引き抜け、ビームアセンブリの姿勢を縦姿勢に引き起こします。
  ②. 図 5-1の通り、ビームアセンブリを縦姿勢にしっかりロックしてください。

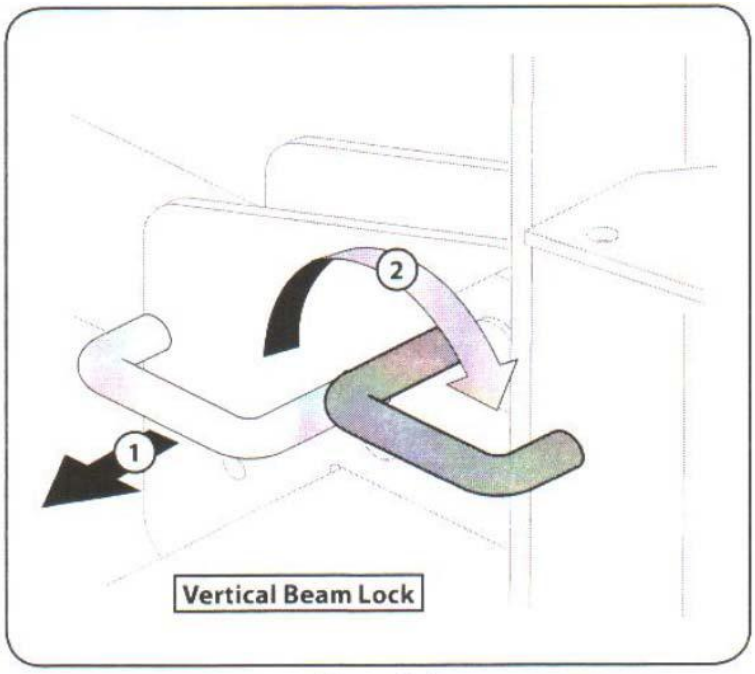


Figure 5-1

操作のしかた

1. 安全注意事項をしっかり注意しながら薪割り機を操作してください。
2. エンジン回転中には絶対に薪割り機を離れてはいけません。
3. 飲酒、または眠気を引起す薬を飲んだ後、薪割り機の操作をおやめください。
4. 不適切な操作は人身事故を引起す恐れがあるため、不慣れ者の操作はおやめ下さい。
5. 薪割り機を常に安全操作範囲内でコントロールして下さい。
6. 操作のしかた　（図２－１）
   a. 横姿勢：コントロールレバー側に立ち、タイヤの後ろ側で操作します。
   b. 縦姿勢：ビームの前に立ち、薪割り機を操作します。

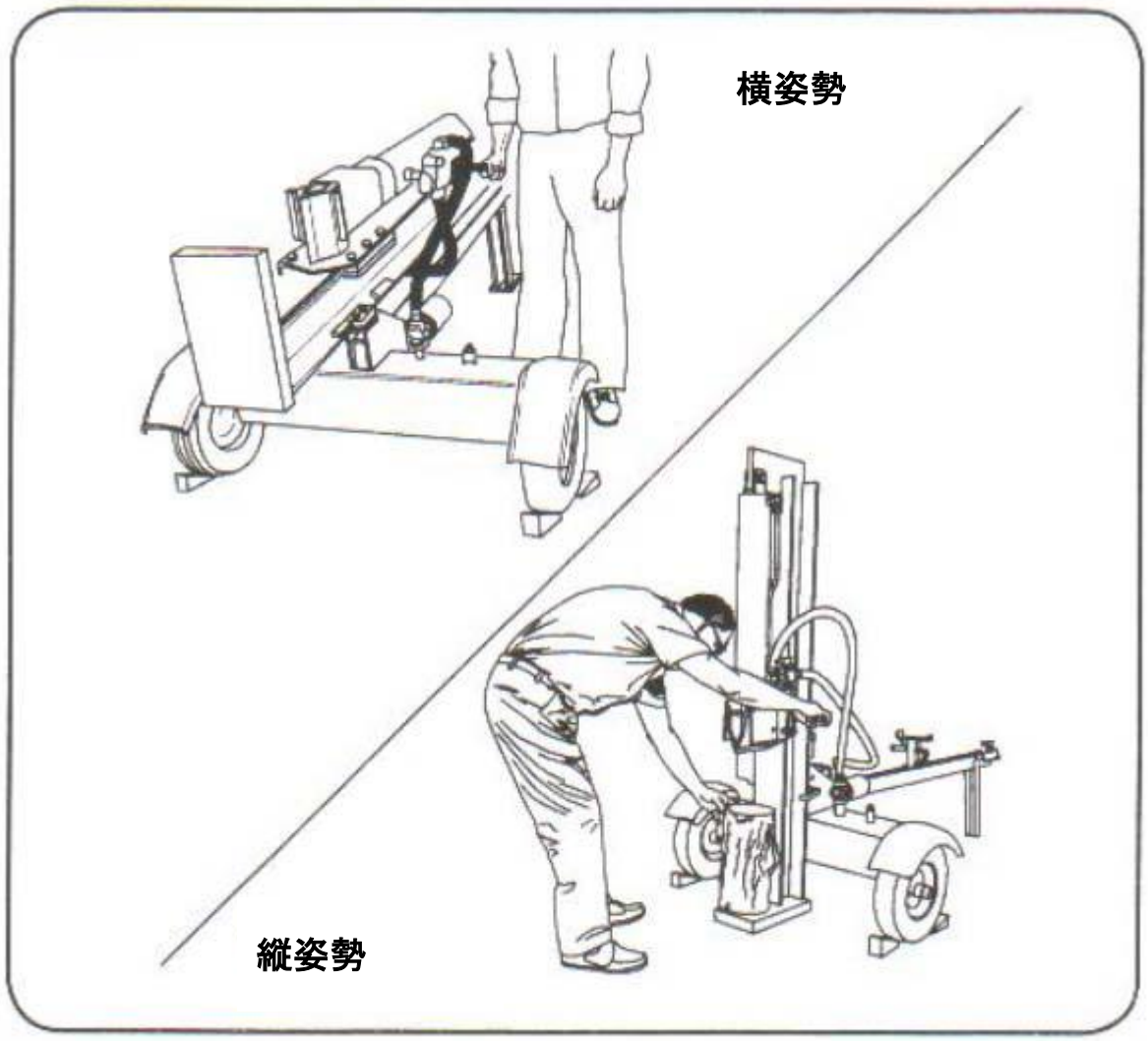


Figure 2-1

7. **丸太を置くときは、常に丸太の切断面ではなく、側面を持つ習慣を付けて下さい。足で丸太を固定するのも絶対におやめて下さい。**液圧圧力が非常に大きなため、容易に指、手、足を切断できますので、必ずご注意ください。

8. 丸太を置く人により薪割り機を操作してください。

9. 一回に二つの丸太を同時に割るのはおやめて下さい。

10. 丸太の切断面がデコボコの時は、できるだけ比較的に平坦な切断面を地面向けに置き、デコボコの切断面をくさびに向き置いて下さい。

11. 縦姿勢で丸太を割る時には、丸太が揺れないようしっかり置く必要があります。
    a. 丸太をビームに少し寄りかかりながら置くことができます。
    b. 丸太が大きすぎる時は、チェーンソーで切ってから割って下さい。
    c. 丸太が小さすぎる時は、ほかの木片で固定させ、割って下さい。

12. 丸太にヒビ入っているところに絶対に指を置いてはいけません。丸太を割る時には、ヒビが急に閉じられ、指を挟む場合があるため、十分に気をつけましょう。

13. 割った後の丸太が足をつまずかないよう、きれいに片づけましょう。

14. エンジンの定格出力を勝手に調整してはいけません。

15. エンジン回転時には、薪割り機を移動してはいけません。

16. ご当地の法律規定によりこの薪割り機が公道で走れない場合がありますので、ご確認ください。

17. この薪割り機を牽引するときには、70km/h以上に超えてはいけません。

18. この薪割り機を車で牽引して、場所移動するときには、ご当地の規定に従って下さい。

エンジンスタート

警告! 薪割り機の上に貼られた全ての警告ラベルをお読み上げ、理解して下さい。
警告! 作業前にレザー製の保護手袋、安全靴、保護メガネをかけて下さい。

1. エンジンスタートする前に、まずプレスオイルが足りているかどうかをご確認ください。不足の場合は計量目印に基づいて補給してください。 この薪割り機に適用するプレスオイルは以下3種類あります。
   Dexron®III/Mercon® automatic transmission fluid
   Pro-Mix™ AW-32 Hydraulic Oil
   10 Weight AW hydraulic oil.

2. エンジンオイルが足りているかどうかをご確認ください。不足の場合は補給してください。

3. エンジンガソリンが足りているかどうかをご確認ください。不足の場合は補給してください。

エンジンスタート

1. スパークプラグワイヤーをスパークプラグに取付けます。キャップでしっかり締付けて下さい。

2. 燃料スイッチを 「ON」 にします。

3. チョックレバーを 「CHOKE」位置にします。

4. まず始動グリップを軽く引き、重くと感じたところで一旦止めます。

5. 始動グリップを一度戻してグリップを勢いよく引くとエンジンがかかります。
ワイヤを引いたあと急に手を放さないでゆっくり戻してください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。

6. エンジンスタートした後、チョックレバーを「OFF」位置にします。

7. 寒い時期には、プレスオイルを解凍させるため、くさびを上から下まで６~８回ぐらいアップダウンしてください。

警告! : エンジン停止直後に、マフラー及び周辺パーツはまだ非常に熱いため、やけどの恐れがあり、触らないようご注意ください。

エンジンストップ

1. チョックレバーを「OFF」位置にします。

2. 燃料スイッチを「OFF」位置にします。

これでエンジンがストップできます。

長期間使用しない時の保管

1. エンジンをクリーニング、または機械調整するときには、安全のためスパークプラグをはずして下さい。

2. ホース、チューブなど液圧システムをメンテナンスするときには、まず液圧システム中の圧力を全部逃がして下さい。

3. 定期的にマフラーの清掃を行って下さい。破損または汚れがひどいの時は新品交換して下さい。

4. 定期的に全て箇所のナット、ボルト、ホースクランプ、液圧システムのパーツなど可動部分の位 置調整及び締付け状態、部品の損傷、取付状態を点検してください。

5. 定期的に安全保護装置を点検して下さい。

6. この薪割り機が非常に重いのため、運搬時には十分人数のヘルパーと牽引車をご用意下さい。

7. 部品の損傷、磨耗が発見された場合は、すぐにメーカーと連絡を取り、新品交換して下さい。

8. いかなる場合でも、この薪割り機を改造してはいけません。不適切な改造は事故を引起す恐れがありますので、絶対に行わないようご注意ください。

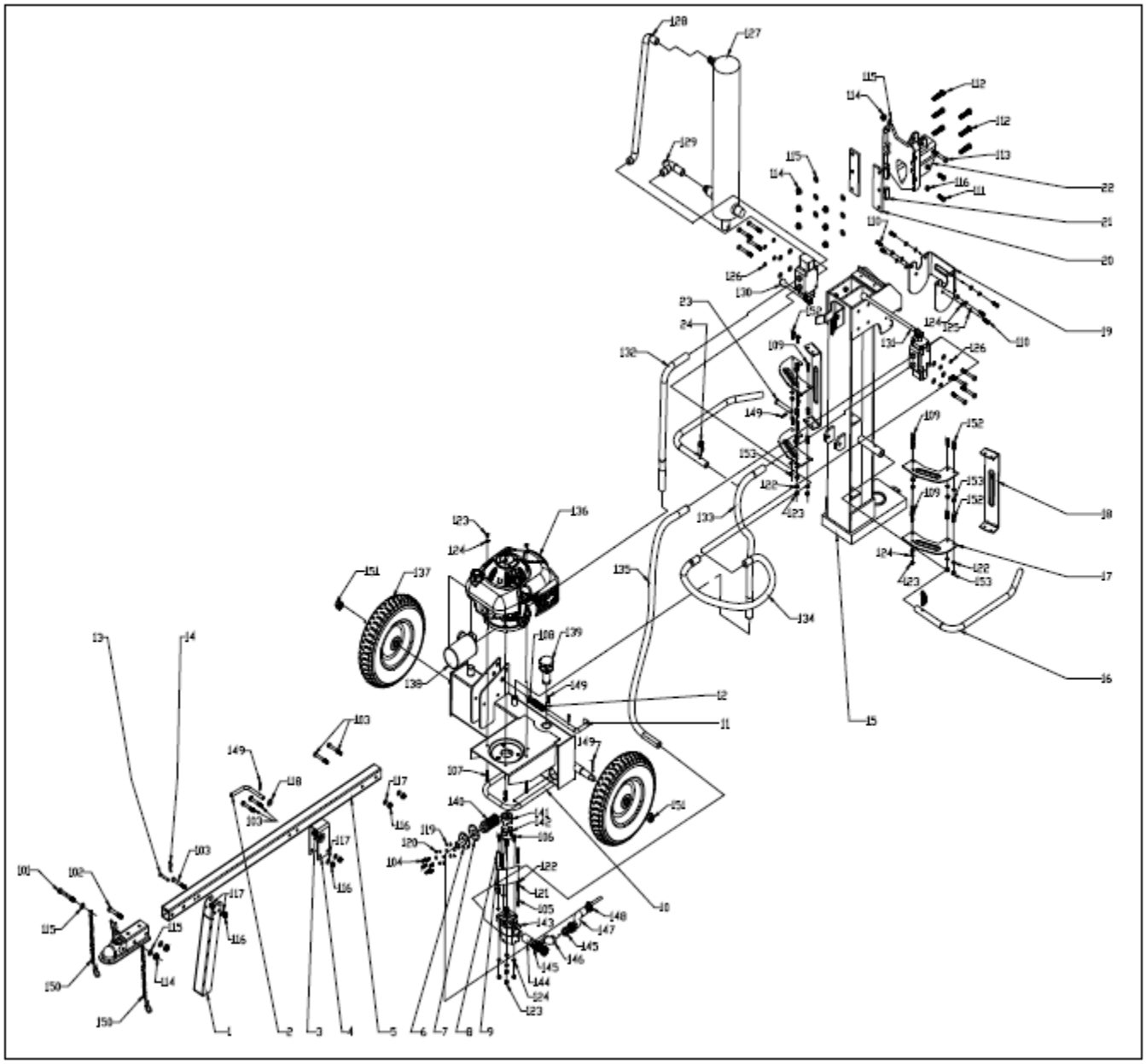
故障と思うとき

故障内容	原　　因	解　決　方　法
エンジンスタートしない	1. スパークプラグワイヤーが接続されていない。 2. ガソリン不足またはガソリン変質 3. チョックは「CHOCK」位置に ありますか？ 4. スパークプラグ 5. ガソリンパイプ塞がれた 6. コントロールレバー	1. ワイヤーをスパークプラグに接続する。 2. 新鮮なガソリンでエンジンタンクを清掃する。 3. 「CHOKE」位置にする。 4. 清掃、ギャップ調整、だめの場合は交換。 5. ガソリンパイプを清掃 6. 「FAST」位置にして下さい。
エンジン回転不安定	1. チョックがまだ「CHOCK」位置にある 2. スパークプラグワイヤー緩んだ 3. ガソリン不足またはガソリン変質 4. ガソリンに水またはホコリある 5. 汚れたエアークリーナー 6. キャブレーター	1. 「OFF」位置にして下さい。 2. ワイヤーをしっかり締付け下さい。 3. 新鮮なガソリンでエンジンタンクを清掃する。 4. 新鮮なガソリンで入れ替えください。 5. 清掃または交換 6. メーカーとコンタクト
エンジン過熱する	1. エンジンオイル不足 2. 汚れたエアークリーナー 3. キャブレーター	1. エンジンオイル補給 2. 清掃または交換 3. メーカーとコンタクト

シリンダー動かない	1. 駆動シャフト壊れた. 2. プラグが液圧ホースの中に落ちた 3. シリンダーボルトが緩んだ 4. シャフト位置ずれた 5. ギア損傷 6. 安全バルブ損傷 7. 液圧オイルパイプ汚れまたは破損 8. 液圧オイル不足 9. 方向バルブ損傷 10. 方向バルブ塞がれた	1. メーカーとコンタクト 2. 液圧ホースの片側をはずし、プラグを取出し、ホースを戻す。 3. メーカーとコンタクト 4. エンジン/ポンプ/シャフト位置を調整 5. メーカーとコンタクト 6. メーカーとコンタクト 7. 液圧システムをクリーニング、パイプ交換 8. オイル補給 9. メーカーとコンタクト 10. 液圧システムクリーニング
シリンダー伸縮スピード遅い	1. ギア損傷 2. 真空ポンプ汚れ 3. エンジンスピード遅い 4. 真空ポンプ破損 5. オイル不足 6. オイル汚れた 7. 方向バルブオイル漏れ 8. シリンダー内部損傷	1. メーカーとコンタクト 2. 直径太い、長さ短いホースをご使用下さい。ホースを常に清潔にして下さい。 3. メーカーとコンタクト 4. メーカーとコンタクト 5. オイル補給 6. オイルタンクを清掃 7. メーカーとコンタクト 8. メーカーとコンタクト
シリンダーオイル漏れ	1.密封シール破損 2. シリンダー損傷	1. メーカーとコンタクト 2. メーカーとコンタクト
丸太割りｽﾋﾟｰﾄﾞ遅い	1. ギア損傷 2. ポンプバルブオイル漏れ 3. 真空ポンプ汚れ 4. オイル不足 5. オイル汚れ 6. バルブ内部オイル漏れ 7. 丸太が硬すぎ 8. シリンダー内部損傷	1. メーカーとコンタクト 2. メーカーとコンタクト 3. 真空ポンプホースを清掃 4. オイル補給 5. オイルチェンジ 6. メーカーとコンタクト 7. 定額出力を超えない範囲内で、丸太を選択してください。 8. メーカーとコンタクト

丸太割り時にエンジンストップ	1. エンジン出力不足 2. 丸太硬すぎ	1. メーカーとコンタクト 2. 定額出力を超えない範囲内で、丸太を選択してください。
エンジン突然停止	1. エンジン/ポンプ故障 2. 低温でポンプ凍結 3. エンジン出力不足 4. 液圧オイル漏れ 5. バルブは汚れで塞がれた	1. メーカーとコンタクト 2. メーカーとコンタクト 3. メーカーとコンタクト 4. 液圧システム清掃 5. 液圧システム清掃
ポンプシャフト密封シールオイル漏れ	1. シャフト破損 2. エンジン/ポンプ故障 3. ギア破損 4. 密封シール位置ずれた 5. オイル通風口塞がれた	1. メーカーとコンタクト 2. メーカーとコンタクト 3. メーカーとコンタクト 4. メーカーとコンタクト 5. 清掃する

Exploded View



ハイガー汎用製品についてのお問い合わせ・ご相談は、

ハイガー・HAIGE 産業株式会社

〒370-0614　群馬県邑楽郡邑楽町赤堀 2656

☎：0276-89-8605　　FAX：0276-89-8606

✉：support@haige.jp

URL：http://haige.my-store.jp/